

## 理事会だより

第6回定例理事会が9月26日、本所で開かれ、下記の議案が承認されました。

### 附議事項

1. 平成29年8月末事業実績検討
2. 「育児休業に関する規程」の一部変更
3. 平成29年度上期随時監事監査報告に対する回答書
4. 株式会社庄内自然エネルギー発電に対する融資契約日の変更
5. 出資金の減口

### 報告事項

1. 利益相反取引に関する報告
2. 「JA庄内みどりの未来を考える会」プロジェクト会議からの答申
3. グループホーム改修・増築工事の入札結果
4. 平成29年度8月までのATMの利用状況
5. 平成29年度園芸大国やまがた産地育成支援事業に伴う固定資産取得の入札結果
6. 平成28年産米直接販売8月末実績
7. 平成29年産米の概算金
8. 平成29年産米概算金の資金対応
9. 自主検査実施要領の一部改正
10. 平成29年度半期資産査定の実施
11. 取引先に対する外部確認の結果
12. 内部監査報告
13. (株)みどりサービス 平成29年8月末事業実績検討

ほか

## インフォメーション

### 農地受委託に関する貸借料の精算

今年度の農地受委託の精算が、11月上旬から中旬にかけて行われる予定です。精算に先立ち、委託者（農地の出し手）と受託者（農地の受け手）には、精算通知書を送付させていただきますので、ご査収ください。

また、農地中間管理機構（やまがた農業支援センター）と契約している方については、精算日が異なりますのでご承知おきください。お問い合わせは各営農課までお願いします。

酒田きた ☎28-8877 遊佐 ☎72-3234 平田 ☎52-2255  
酒田ひがし ☎43-1601 八幡 ☎64-2600 松山 ☎62-3300  
酒田みなみ ☎28-8850

### グループホーム職員を募集します

来春酒田市千日町に開所予定のグループホーム職員を募集します。

- 募集職種 介護職員 5名程度
- 応募資格 ホームヘルパー2級以上有し、自宅より通勤可能な方
- 応募方法 平成29年11月10日(金)までに下記書類を提出ください。  
①自筆で写真が添付された履歴書 ②資格を有する証明書の写し
- 応募書類の提出先 〒998-8510 酒田市曙町一丁目1番地  
JA庄内みどり 総合企画部人事教育課  
☎0234-26-5561 ※試験日はおって連絡いたします。

### ウォーキング倶楽部のご案内

- 〈第6回〉
- 日 時 10月21日(土) 8:30より受付開始 9:00スタート
  - 集合場所 日和山公園駐車場
- 〈第7回〉
- 日 時 11月11日(土) 8:30より受付開始 9:00スタート
  - 集合場所 酒田みなみ支店駐車場
  - お問い合わせ・お申込み 福祉課 ☎24-5411 FAX24-5413  
※単月のみのご参加も大歓迎です!

### 「第140回秋田県種苗交換会」への参加者募集

- 日 時 11月3日(金)
- 対 象 農機具購入を検討されている方100名程度
- お申込み 10月20日(金)まで最寄りの農機センターへ

### 「みどりの里山居館」収穫感謝祭を開催します

- 日 時 10月29日(日) 9:00~12:00
- 会 場 みどりの里山居館前駐車場テント
- 内 容 29年産の新米の試食販売や餅つき、あんこ餅や肉餅のふるまいを  
行います。(無くなり次第終了)
- お問い合わせ みどりの里山居館 ☎26-6222

### JAいきいき広場へ遊びにきませんか

助け合い組織「すけっとみどり」が「JAいきいき広場」を開催します。音楽と簡単な体操で心も身体も元気にしましょう!

- 日 時 11月7日(火) 9:30より受付 10:00開始~正午まで
- 場 所 酒田ひがし支店 2F会議室
- 内 容 「津軽三味線と津軽手踊り」・転倒予防体操
- お申込み 10月31日(火)まで福祉課へ ☎24-5411 担当:土井

### 紳士服採寸会のご案内

- 日 時 10月17日(火)8:30~19:00 10月18日(水)10:00~17:00
- 会 場 17日本所2階会議室 18日遊佐資材店舗
- お問い合わせ 生活課 ☎33-1071 遊佐資材店舗 ☎72-3067

今回の花き部会全体学習会では、「カスミンソウ」に注目が集まっているという話題が出ました。小さく繊細な花が霞のように咲き、花束やフラワーアレンジメントのアクセントとして人気の花です。独特の匂いがあるため、単体での花束などは敬遠される部分がありますが、現在は匂いを抑える技術開発が進み、匂いを心配せず取り扱える状況になってきていると知りました。カスミンソウの花束を飾って、心も空間も明るく過ごしてみたいと思いました。

(祥)

いよいよ稲刈り本番、車を走らせればいたる所でコンバインが稼働しています。皆さん忙しい中、安全第一で作業をしていることと思います。平成30年産からの「生産の目安」について取材しました。30年産米は前年同様に算定することから、主食用米面積はさらに減少する方向です。主食用米の全国需要量は毎年8万トン減少し、県内分で換算すると毎年3千600トン減、面積では600ha減になることの資料を見て、オイル日本・オイル山形で需給調整に取り組んでいくことの大切さを、改めて実感しました。

(前田)

あどがき

